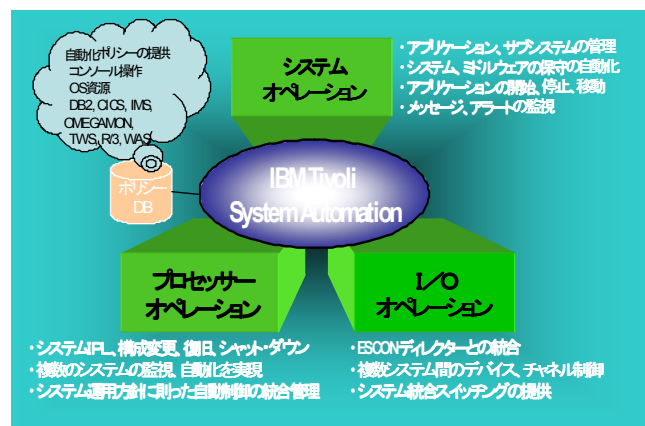


IBM Tivoli System Automation for z/OS



IBM Tivoli System Automation for z/OS® は、エンド・ユーザーに提供する重要なビジネス・プロセスの可用性と品質を、自己管理および自己修復のオートノミック・コンピューティング機能によって向上させます。Tivoli System Automation for z/OS の他にはない機能により、単一の z/OS システムおよび Parallel Sysplex® クラスター環境で次のことを実現できます。

- IT の可用性に影響する問題の発生頻度および 期間を削減します
- IT 組織内で単一のハイ・アベイラビリティ・ポイントを確立します
- ベスト・プラクティスによってハイ・アベイラビリティの不足に対応します
- 複雑な IT インフラストラクチャーの管理を簡易化します
- コストを削減します
- 事後対応型のエラー修正から事前に対策を講じたサービス拡張に IT 組織を移行します



Tivoli System Automation for z/OS は、ポリシー・ベースの自己修復により重要なビジネス・アプリケーションの可用性向上を実現し、z/OS システムの 入出力、プロセッサ、および システム操作 を自動化することを目的としています。システム管理者はシステムの「本来あるべき状態」を定義でき、ソフトウェアによってシステムの状態をモニターし、システムがその「本来あるべき状態」から逸脱した場合には適切な対応を講じます。IMS、CICS®、DB2®、WebSphere®、GDPS®、mySAP Business Suite など、多くの IBM や IBM 以外のミドルウェアとアプリケーション向けのプラグ・アンド・プレイ自動化ポリシー・モジュールが組み込まれています。

新機能

- [IBM Tivoli System Automation for Multiplatforms](#) と統合することで、z/OS、Linux®、および IBM AIX® の複数のプラットフォームにわたるマルチ層、つまり複合ビジネス・アプリケーションの可用性向上を実現します

- [IBM Tivoli OMEGAMON® for CICS, DB2, IMS, MVS](#) と統合することでより積極的にパフォーマンス・ベースの自動化を実現します
- ベスト・プラクティスに基づく改善されたプラグ・アンド・プレイ自動化ポリシー・モジュールが付属しており、アプリケーション・グループ全体を実行中の既存の構成に動的に一括インポートすることができます
- サービス・ストリームによって、変更されたメッセージや新しいメッセージの自己構成を実現します
- 自動化ポリシー・モジュールや System Automation と NetView® の開始/停止手順などを含む拡張された GDPS® 統合機能を提供します

エンドツーエンドの自動化により可用性の向上を実現

Tivoli System Automation for Multiplatforms は、アダプター・インフラストラクチャーを利用して Tivoli System Automation for z/OS と統合することで、複合アプリケーションを効果的に自動化して可用性の向上を実現します。z/OS、Linux®、および IBM AIX® の複数のオペレーティング・システムで Web ベースの単一のハイ・アベイラビリティ・ポイントの提供を支援することで、Tivoli System Automation for z/OS では次のことを実行できます。

- アプリケーション・コンポーネントの集約状況と詳細状況を表示できます
- 単一のアクションですべてのプラットフォーム上のアプリケーション・コンポーネントを適切な順序で開始または停止できます
- DB2 ソフトウェアが停止した場合の Web アプリケーションの再生処理など、クロスプラットフォームの依存関係の解決を支援することでアプリケーションの可用性を向上させます

Tivoli System Automation for z/OS と Tivoli System Automation for Multiplatforms の統合により、z/OS、Linux、および AIX アプリケーションを担当する 1 つの運用および自動化チームを設立し、問題判別および解決の大幅な簡素化を支援できます。Tivoli System Automation for Multiplatforms は、エンドツーエンドの自動化マネージャーも提供します。この自動化マネージャーは、Tivoli System Automation for z/OS の z/OS アプリケーション・コンポーネントとその状況を自動的に認識します。定義する必要があるのは、クロスプラットフォームのリソース、グループ、および依存関係だけです。

パフォーマンス・ベースの自動化を実現

Tivoli System Automation for z/OS では、事前の対策を講じた自動化を実現し、障害が発生したときに対応するのではなく、発生する可能性の高い障害を事前に阻止することができます。

Tivoli System Automation for z/OS は、IBM Tivoli OMEGAMON® モニターからのパフォーマンス関

連の情報を自動化処理フレームワークに組み込みます。これにより、システム管理者に先行して通知し、差し迫った障害が発生する前に適切なアクションに従ってジョブを終了したりシステム間でワークロードを移動したりすることで、システム・パフォーマンスの最適化を図ることができます。

すぐに使用できる拡張ポリシー・モジュール

Tivoli System Automation for z/OS には、IBM および IBM 以外の主要なミドルウェアおよびアプリケーション向けの 40 を超えるプラグ・アンド・プレイ自動化ポリシー・モジュールが付属しています。ポリシー・モジュール構造は、各アプリケーションのユーザー体験や高度な知識を含む、ベスト・プラクティスに基づいて拡張されています。

また、Tivoli System Automation for z/OS には、既存のすでに実行されている構成にポリシーを動的に一括インポートできるポリシー・モジュール・インポート機能もあるので、新しいアプリケーションや既存のアプリケーションの更新を迅速かつ簡単に導入することもできます。リンクも含めアプリケーション・グループ全体をインポートできるので、手動の後処理や定義忘れのリスクを削減できます。

メッセージ管理の簡素化

多くの市販アプリケーションや z/OS コンポーネント対応のすぐに使用できる自動化メッセージ管理機能が組み込まれています。この機能により、セットアップ作業を必要最小限に抑えながら、質の高いインストールを実現できます。また、カスタマイズ可能な単一アクション・メッセージ管理機能も組み込まれています。必要な z/OS および NetView メッセージ定義が自動的に生成されます。強力なメッセージ・ポリシーにより、さまざまな開始タイプやメッセージ・コードに対応する自動化がサポートされています。カスタマイズ・ダイアログも使いやすくなりました。

高度な災害時回復機能

z/OS 環境での利用を目的として作られた Geographically Dispersed Parallel Sysplex® (GDPS®) オフリングは、災害時回復プロセスの管理および合理化を実現する IBM グローバル・サービスのビジネス継続性ソリューションです。GDPS は、計画内や計画外の停止が発生した場合の重要なアプリケーションおよびワークロードのリカバリーを自動化し、ほぼ無停止の可用性を実現します。GDPS により、従業員、パートナー、お客様が主要なビジネス・アプリケーションを必要とするときに常に確実に稼働させておくことができます。

Tivoli System Automation for z/OS は、GDPS がリモートのコピー構成とストレージ・サブシステムを管理し、Parallel Sysplex の操作タスクを自動化し、単一の制御ポイントから障害回復を実行することを実現します。これによりアプリケーションの可用性を向上させます。プラグ・アンド・プレイ自動化ポリシー・モジュールが組み込まれているので、GDPS によるセットアップ、導入、操作がさらに短時間で行え

ます。

Parallel Sysplex 環境の単一自動化ポイント

Tivoli System Automation for z/OS では、構成するリソースの数や常駐する場所に関係なく、Parallel Sysplex アプリケーション全体を自動化できます。必要に応じて、複雑な依存関係を持つリソースを開始し、他のシステムに移動できます。

Tivoli System Automation for z/OS により、システム間の依存関係を処理し、複雑性を最小限に抑えると同時に、可用性を最大限に高めて操作を最適化し、構成をモデル化することが可能となります。次の機能を利用することで、真の Parallel Sysplex アプリケーションの自動化を実現できます。

- 高度なマネージャー/エージェント設計
- リソースのグループ化とビジネス・アプリケーションの定義
- 構成をモデル化するための強力な依存関係サポート
- 目標主導の自動化

また、Tivoli System Automation for z/OS では、すべてのサーバー、プロセッサ、イメージの IPL (初期プログラム・ロード)、構成、リカバリー、およびシャットダウンを含む、シスプレックス全体にわたるプロセッサ操作の単一自動化ポイントも設定できます。LPAR ウェイトや定義済みのキャパシティなど、スケジュールやワークロードの目標に基づいて、プロセッサ操作を自動化することもできます。

Tivoli System Automation for z/OS では、シスプレックス全体にわたる入出力操作を自動化することもできます。どのプロセッサもあらゆるディスクにアクセスできるので z/OS の I/O 構造は非常に柔軟性がありますが、システム環境全体の入出力構成で変更を 1 つ加えただけでも、その影響を把握するのは大変です。Tivoli System Automation for z/OS は、入出力構成のオンザフライ変更を管理し、意思決定プロセスに関係するすべての関係者を取り込んでシステム全体の可用性と整合性を確保します。

エンドツーエンドのオートノミックなオンデマンド・ビジネス・アプリケーションへの重要なステップ

Tivoli System Automation ポートフォリオは、異機種混合環境での幅広いハイ・アベイラビリティの確保に不可欠で、スケール上の利点を生かし類似性のある管理やポリシー定義を利用する機能を提供し、z/OS、Linux on System z、AIX、Linux など、多岐にわたるオペレーティング・システム・プラットフォームで整合性のある全社的なアプリケーションの自動化を実現します。Tivoli System Automation のソリューションで、将来を見据えた、理想的な環境を作ることができます。

Tivoli System Automation のソリューションは、IBM Dynamic Infrastructure for mySAP Business

Suite に含まれています。[詳細についてはここ](#)を参照してください。

⇒ [Adobe® Reader® を入手する](#)

機能、説明、利点		
機能	説明	利点
Parallel Sysplex アプリケーションの自動化	Parallel Sysplex の自動化を実現するリソース、依存関係、目標のシスプレックス全体にわたるグループ化を実行できます	単一の制御ポイントや使いやすい Java ベースの GUI から、数多くのスタンドアロン・システムおよびクラスターを管理します
ポリシー・ベースの自己修復	企業全体で共有または複製可能な自動化ポリシーにより、複雑性、導入時間、コーディング、サポート作業を削減します	変数の複製や、事前定義済みおよび自己構成済みのメッセージ・ルールを頻繁に使用して、ポリシーの作成を簡易化します
統合	IBM Tivoli Enterprise Console、IBM Tivoli Business Systems Manager などの Tivoli 製品と統合します	システム・リソースとネットワーク・リソースの両方のシームレスな自動化を実現できます
mySAP ハイ・アベイラビリティ・オートメーション	mySAP とその関連コンポーネントのハイ・アベイラビリティ管理ソリューションを提供します	自動化、ハイ・アベイラビリティ、および透過的なフェイルオーバーの概念を組み合わせます